

# KUDUについて

2006/11/15

IHE-J

渡辺 昌彦

## KUDUとは

- ◆ IHE Europeで開発された、CONNECTATHONの運営・管理を統合的にサポートする、WEBベースのツールである。
  - ✓ 参加ベンダーの登録・確認、参加するシステム機器の構成情報、申請する統合プロフィールなどの登録・確認・変更
  - ✓ 各システムごとの対象テストシナリオの提示
  - ✓ 組み合わせ対象システム提示とシステム状況も表示
  - ✓ 実施中のテストシナリオの進捗の表示及びその結果の表示
  - ✓ 管理者 (Project Manager (PM)) によるテスト結果の確認操作とその表示
  - ✓ 各社・参加システム別の結果の集計表示と総合評価の表示
  - ✓ 参加システムの接続情報の一覧
  - ✓ CONNECTATHONでのテストシナリオの表示とその編集機能

# KUDUを使用する

- ◆ http://Kudu-ihej.dyndns.org/japan2007/ にアクセスする。
- ◆ Log -In: “ihejuser” Password: “ihej2007”。
- ◆ 左下“Login”プルダウンから会社略称を選択、パスワードを入れて“Login”。

192.168.0.42 に接続

ユーザー名(U): ihejuser

パスワード(P): \*\*\*\*\*

パスワードを記憶する(E)

OK キャンセル

IHEJ 2006 CONNECTATHON  
IHE In Tokyo, Japan 2007

News

News

IHE-J 2006 コネクタソンが2007年2月5日(月)から9日(金)まで東京都立産業貿易センター(浜松町)で開催されます。

参加各社は、会社名とその参加システムの登録を本ページより11月30日までに完了してください。以降の追加登録は行えなくなりますのでご注意ください。

View all news

登録のときは“Register”をクリック

Login:  
agfa

Password:  
[masked]

Login  
register  
lost password

## ベンダーおよびシステムの登録・確認 (Registrationメニュー)

- ◆ Create/Manage Login画面で会社名、略称(ニックネーム)と連絡先メールアドレスを登録し、その後、コネクタソンに参加するシステムを登録する。会社の代表や連絡先等も登録できる。
- ◆ Company/Systems画面でシステム名を登録し、参加ドメイン、申請する統合プロフィール、アクター、オプションを全て登録する。
- ◆ 登録システムのアクターと統合プロフィールのオーバービューを確認する。

## ベンダーのシステム構成の登録・確認 (Configurationメニュー)

- ◆ Company画面で申請のアクター／統合プロフィールの組み合わせがシステム構成として妥当であれば、管理者により“**accepted for connectathon**”として、Company画面で表示される。
- ◆ その後、Systems画面で各システムのホスト名、HL7アプリケーション、DICOM AEタイトル、ポート番号などを確認し、必要があれば変更する。確認しないとNetwok画面で確認済みにならない。
- ◆ 他社のシステムの上記情報はNetwok画面で知ることができる。
- ◆ その他のメニューは今回使用しない。

## MESA TEST情報 (MESA Testsメニュー)

- ◆ Download画面から最新のMESA Test(英語版)のWEBページにリンクしている。ただし、Login/Passwordが必要。
- ◆ Test List画面・Test Requirement画面で、ドメイン別のMESA Testの一覧および統合プロファイルごとの対象テストの一覧表が表示される。
- ◆ その他のメニューは今回使用しない。

## テストの実施と状況表示 (Connectathonメニュー)

- ◆ Main Connectathon画面で対象システムの選択とテスト項目の選択(Select)を行う。またこの画面でテストの進捗状況がわかる。
- ◆ 実施中でない(どこのステイタスにも番号が入っていない)テスト項目を選択をすると対象となる可能性のあるパートナー(テストできる状態にあるもの)が表示され、相手を選んでテストを開始できる。
- ◆ テストの進捗は先ほどの画面(Main Connectathon 画面)でテスト番号をクリックすると該当テスト項目のテストステップが表示されステップごとに確認して行くことができる。ただし、ステップの状況を変更するのはテスト当事者で必ず一社に限る。

## テスト結果の確認 (Connectathonメニュー)

- ◆ 一通りテスト項目が終了したら、PM立会いを求め、テスト項目の結果を確認しベリファイをしてもらう。PMのベリファイで該当テストの状態は“completed”となり完了する。
- ◆ **Result Matrix**画面で、各システムごとの申請したアクター／統合プロフィール・ペアの最終結果がわかる。
- ◆ 各ペアの枠内の標示(m/n)は、テストシナリオごとの、mがテスト完了数、nは可能組み合わせ数(目安、必ずしも正確でない)。



## その他の情報 (Connectathonメニュー)

- ◆ 統合プロフィールごとに申請されているシステムの一覧が Vendor Grouping画面で表示される。それにより、予め自分のテスト相手を見つけておくことができる。  
(グループの選択はいないでよい)
- ◆ テストの一覧はTest Browser画面、テスト項目の内容は Test Information画面で確認できる。
- ◆ Test Requirement(Per Actor)画面では、統合プロフィールごとにテストシナリオと対象となるアクターの一覧表が見れる。
- ◆ その他の画面は操作しないこと。